

(案)

第4次 北九州市営バス事業 経営計画

令和8年度～令和12年度
(2026) (2030)



令和8年 月
北九州市交通局

基本理念（ビジョン）

「市民の幸せを運ぶバス」

それが、北九州市営バスです。

いつも お客様の気持ちを大切にし、
感謝の心で、地域発展のため前進していきます。

交通局の担うべき「使命」

- 公営交通事業者として 通勤・通学や買物・通院など「市民の生活の足」を守り続ける
- 市の施策と連携しながら
 - ・ 災害などの際の被災者の移送、物資の輸送
 - ・ 新型感染症が流行した際の感染患者の搬送
 - ・ 大型イベント開催時の関係者や観客等のシャトル輸送などにおいて中心的な役割を担う

行動指針

- 知識と技術を高め 安全と快適を提供します
- やさしい笑顔の応接で 喜びと満足を提供します
- 創意と工夫をこらし 可能性に挑戦します
- ともに力を合わせ 組織の総合力を高めます
- 夢と希望を持って 明るい職場をめざします

交通局の担うべき「役割」

独立採算制のもと収支均衡を図りながら
安全・安心な運行に努め
市民・企業・団体等と協調し
基本理念である
「市民の幸せを運ぶバス」であり続ける

目次

第4次北九州市営バス事業経営計画

第1章 第4次北九州市営バス事業経営計画について	4 P
第2章 市営バスを取り巻く現状と課題、可能性	6 P
第3章 アクション（具体的な取組み）	10 P
1 「市民の生活の足」を守り続ける	12 P
（1） 人材の安定的な確保	
（2） 効率的な路線・運行形態の構築	
（3） 安全で安心した交通サービスの提供	
2 「乗りたいくなるバス」を目指す	18 P
（1） 利用者サービスの向上策	
（2） 利用促進を目指した情報発信の強化	
3 経営基盤の強化	20 P
（1） 収入の確保	
（2） 効率的な路線・運行形態の構築（再掲）	
（3） 継続的な改善	
第4章 成果指標（K P I）の考え方	23 P
第5章 収支計画	24 P



第1章 第4次北九州市営バス事業経営計画について

経営計画を着実に実行し 「市民の生活の足」を守り続ける

北九州市交通局は、令和2年度の北九州市営バス事業あり方検討会議における「交通局が市民の暮らしを支える地域の足としての役割をしっかりと果たしていくべき」等の意見を踏まえて策定された「第3次北九州市営バス事業経営計画」のもと、これまで「利用者に安全、安心、快適な交通サービスを提供するとともに、収益的収支の均衡」を目指してきました。しかし、計画期間中に労働時間の規制強化（いわゆる「2024年問題」）がされたことにより、人手不足がさらに助長されました。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全国のバス事業者と同様に、バス利用者数の減少、財務状況の悪化といった厳しい経営環境に直面しています。

この状況を打開し、V字回復を目指すために令和6年度から「運転者確保策」や「利用促進策」の強化に取り組むとともに、持続可能な市営バス事業を目指し「利用者サービス向上策」や「運賃体系の見直し」など5つの新たな取組の検討を行ってきました。

そして、これらの取組の実効性をさらに高め、市民ニーズに即したサービスを提供するために、学識経験者や利用者、地域の代表者等による「北九州市営バス事業あり方・役割検討会議」で議論を行いました。同会議において、「利用者にとって、市営バスは生活に欠かすことができない交通ネットワークである。このネットワークを維持していくため、経営改善が必要である。」など、経営改善を着実に実行し収支均衡を達成することにより、引き続き交通局が「市民の生活の足」としての使命・役割をしっかりと果たしていくべきという多くの意見をいただきました。

市営バス事業を取り巻く経営環境は、今後も大変厳しい状況が続くことが見込まれます。同会議での意見を踏まえ、市営バスが、将来にわたって地方公営企業として独立採算性を維持しつつ、「市民の生活の足」としての重要な役割を果たしていくため、「第4次北九州市営バス事業経営計画」を策定いたします。

北九州市交通局は、この計画を通じ、今後も市民にとって不可欠な「市民の生活の足」として地域社会の発展に貢献してまいります。

計画期間

令和8年度～令和12年度までの5年間
(2026 ～ 2030)

計画目標

収益的収支の均衡を目指し、
持続可能な公共交通ネットワークの一翼を担い、
「市民の生活の足」を守り続けます

評価・検証

取組開始3年後に期間中の取組内容及び結果の評価・検証を行います。
運用にあたっては、社会経済情勢の変動等に対応して、随時必要な見直しを行います。

北九州市・新ビジョンの推進

本計画を着実に実行することにより「北九州市・新ビジョン（北九州市基本構想・基本計画）※令和6年3月策定」の実現を目指します。

また、地方公営企業が中長期的な経営の基本計画として策定する「経営戦略」として位置づけます。

北九州市・新ビジョン（北九州市基本構想・基本計画）

つながりと情熱と技術で、
「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市・北九州市

<3つの重点戦略>

第3章「彩りあるまち」の実現 ～輝く個性と楽しさがあふれるまち～

1 彩りある「空間」をつくる

(2) 選ばれる「住まい環境」づくり

充実した生活利便施設や公共交通などの都市インフラ、医療資源に加え、住環境と近接した豊かな自然を持つ北九州市の強みを生かし、利便性が高い地域における土地利用規制の見直しや積極的な民間投資の呼び込みにより、多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備を推進します。また、デジタルの活用と、多様な関係者との連携・協働を通じて、公共交通の利便性と持続可能性を高めます。

